

第1回委員会で出された意見



資料2

☆魅力向上に関すること☆

- 医療と健康、輸送と交通、エネルギーと環境、文化とコミュニティ、4つのキーワードの横断的な繋がりで、この文化ゾーンを活性化すべき
- 自治会員が文化ゾーンを利用したらポイントが付く。割引があると、自治会離れに少しでも歯止めがかかるのではないか
- 有機的な結びつきを活かして、1日過ごすことができるとうい
- まだ不十分、あるいはもう既に生まれている価値を改めて再発見する
- 相乗効果を意識しながら取り組むことが、これからは必要
- 高いポテンシャルをいかに使いこなすか。使いこなしがキーワード
- コロナ禍で人と会えない中、屋外のニーズはかなり広がっている
- なぜリアルでなければいけないのか。集積しているその効果が今まさに求められており、リアルワールド、バーチャルワールドをどう考えるのか
- 3つの視点については、10年たった今もなお必要であり、更に引き継いでいくべき
- 賑わいの基本は人が集まること。いくら魅力的な施設を頑張って作っても、人が来なければ意味がない
- 人々の行動とか考え方がますます多様になっている事実があり、一つの施設に一つの機能ではなく、多機能が求められている
- それぞれの施設で何をやっているのか、そこに行くにはどうして行ったらいいのかというのが、一目でわかるプラットフォームを作り、Web 3の世代、将来世代に伝えられるようにする
- 琵琶湖が望める良い景観も一つの売りに入れるべき
- エリアを再定義し、住民のニーズに応えるようなエリア作りをしていく必要がある
- バーチャル大学のような、常に学べる場所がここにある

☆公共交通に関すること☆

- バスを使った施設の横断的な使われ方を考えていくべき
- 交通体系の整備は、ビジョンの柱として明示すべき
- 人が動かないと、立ち行かなくなる。それを支える基盤としてのモビリティが必要
- ここでバスターミナルを作ることによって、地域のバスが動く状況にもなり、人の流れができる
- 週末は駐車場が満杯になるので、安易に駐車場を増やせばいいということではなく、さらに駐車場を作ると、平日はガラガラでもったいない。公共交通なら、土日だけ増やそうというようなことが柔軟に対応できる。
- 多くの利用者のニーズを聞きながら公共交通を考えていくべき
- 広域行政である県が公共交通を直営するのではなく、実際に利用者が利用できる対策を作っていくのが県の役割である
- MaaS(Mobility as a Service)のモデル事業も可能ではないか



☆その他に関すること☆

- 上位計画が実施計画推進の障害になっていることがある
- 道路整備が進まないと、課題が解消できない
- ①将来世代への責任、②行政的投資の大改革に向けた試金石、③計画を作りっぱなしにしない
- まず、必ず予算を提示し、その中でどういう形でやるのかを決めていくべき
- トライアンドエラーを繰り返してやることが必要
- 人口が減っている中、路線バスや鉄道をどう維持していくかは、生活者にとっても非常に重要
- 将来世代が積極的にまちづくりに参加できるようになるのがWeb3
- ここに現れてこない、他の政策との連動も重要



キーワードの整理

魅力向上に向けて

- ◇横断的な繋がりによる活性化 ◇施設の割引
- ◇有機的な結びつき ◇価値を改めて再発見 ◇相乗効果 ◇使いこなし
- ◇屋外のニーズ ◇リアルワールド・バーチャルワールド
- ◇3つの視点は今も必要 ◇人が集まること ◇多機能 ◇情報発信のプラットフォーム
- ◇琵琶湖が望める ◇住民ニーズに合ったエリアづくり ◇常に学べる場所

公共交通

- ◇バスを利用した施設の横断的な使い方 ◇交通体系の整備はビジョンの柱
- ◇基盤としてのモビリティ ◇バスターミナル ◇路線バスや鉄道をどう維持するか
- ◇MaaS ◇駐車場を増やせばいいということではない ◇バスを土日だけ増やす
- ◇多くの利用者のニーズを聞く ◇バス利用者の利便性向上

その他

- ◇上位計画が障害になる可能性 ◇道路整備 ◇将来世代への責任
- ◇行政的投資の大改革に向けた試金石 ◇計画を作りっぱなしにしない
- ◇予算 ◇トライアンドエラー ◇Web3 ◇他の政策との連動

キーワードの整理から明らかになったこと

公共交通

情報発信

環境

- ◇5つの将来像を実現するために、各施設・機関で様々な取組が進められてきたが、利用者が必要とする **公共交通** や **情報発信** の プラットフォーム が、依然として利用者を満足させるレベルに達していない
- ◇将来世代への責任として、ビジョン策定後の社会要求の変化により生じた、エネルギー問題をはじめとする **環境** などの新たな課題に対応した アップデート が必要である